

# 水軒堤防 (和歌山市)

令和元年6月21日 国文化審議会 新規指定答申

## 史跡の概要

水軒堤防は、県北部を流れる紀の川河口部南方に江戸時代後期に築かれた総延長約2.6kmの防潮・防波堤防です。堤防は、石堤と土堤からなる中堤防、その南側に取付く土堤（南堤防）と北側にある自然堤防（北堤防）から構成されています。18世紀初頭の『大畑才蔵日記』や19世紀の『紀伊続風土記』『異船記』などの記録からも、この場所に堤防があったことがうかがえます。水軒堤防は、史資料の記録や発掘調査により、その構造と時期が判明しており、近世の土木技術や防災を知るうえで貴重な史跡です。

## 指定地面積

79,477.24㎡  
(延長約1.5km)



石堤 (中堤防・南橋部)



水軒堤防 航空写真